



TOGAKU PRESS

TOGAKU 生の活躍を
応援するマガジン

100周年直前特集

2026年11月4日の“創立100周年”まで、あと約1年。
100周年とその先を見据え、TOGAKUは進化を続けています。
今号では、ワクワクする未来に向けた取り組みの数々をご紹介します！



TOGAKU SPORTS

硬式野球部が2部優勝！

100周年連載企画

“誕生日”が2つある謎

100周年記念事業イベント委員会
学生委員
(現代経営学部3年生)

p.12でメンバーの自強不息をご紹介します！

100周年記念事業イベント委員会
学生委員がナビゲート

100周年記念事業
イベント委員会
学生委員って？

現代経営学部の3年生有志から成るチーム。本学の教職員と連携しながら、100周年を盛り上げる多彩なイベントを企画・実行していく予定です。

TOGAKU
History

2026

東洋学園
創立100周年!

1926

旧制 東洋女子歯科医学専門学校 創立



創立当初は
女性の歯医者さんを
育てる学校だった!

100th
ANNIVERSARY
SINCE 1926

東洋学園 100周年直前特集

1926年創立の東洋学園は、来年2026年に100周年を迎えます。
女性のための歯科医学専門学校、女子短大、そして大学へと進化してきた本学。
新たなステージとなる次の100年も、さまざまな改革を行い、進化し続けます。
ワクワクする未来に向けて、TOGAKUが実践するのはどんな取り組み？
100周年の盛り上げ役である学生委員と一緒に見ていきましょう。



英語教育に強い
女子短大として
知られていたよ!



当初の大学生は
千葉のキャンパスで
学んでいた!

1950

東洋女子短期大学 開学

1992

東洋学園大学 開学

100周年 最新TOPICS

WILL. I DO.

建学の精神
「自強不息」
がベース!



100周年スローガンが誕生

東洋学園が大切にしているのは、「自ら弛まず努力を続ける」という意味を持つ建学の精神「自強不息」。その精神を受け継ぐ100周年のスローガンが「I WILL. I DO.」です。「さっと出来る、やってみよう」と、学生自らが自分の背中を押して、成長し続けるイメージを言語化しています。

100周年記念ロゴにも注目!

時代の
積み重ねを
表しているよ



現行の大学ロゴ→

短大の校章→

歯科医専の校章→



100thの左側にデザインされた3つのキューブは、東洋学園の変遷を表しています。校章やロゴを積み重ねることで学園の歴史を表現するとともに、建学の精神「自強不息」に象徴される「積み重ねることの大切さ」も伝えています。

教 育 理 念

01

自他を活かしひらく

自らと向き合い、各々の個性とフィールドを見出し、弛まず取り組み続け、自信をつけていく。自他ともに認め尊重し合い、能力を高め合い成長し続ける。

02

社会と世界に向き合う

グローバル都市・東京で、現代と世界の多様な課題に取り組む。リアルな学びのなかで理論と知識を実践し、よりよい社会となるように貢献する。

03

支えあい未来をつくる

社会や他者に支えられ存在することに感謝し、互いに支え合う。ともに生涯にわたって学び続け、未来に向かって挑戦を続ける。

新しい
教育理念は
この3つ!



教育理念がリニューアル

これからの社会を見据え、100周年を機に教育理念をアップデート。変化を恐れず、柔軟に考え、行動し、他者と協働しながら、自らの意思で道を切り拓いていく——、そんな人に成長してほしいとの願いが込められた内容になっています。

学生主体の取り組みが増加 学生が先生になる授業も!?

100周年イベントの一環として、学園祭時に逆転授業を開催。学生委員の斉藤さんが「百人一首と現代短歌」をテーマに、下永田さんが「TikTok」をテーマに授業を行いました。愛知理事長や辻中学長をはじめ、大勢の教職員が学生として参加し、真剣な表情でノートを取ったり、質問する姿も。「教職員の方々がノリノリで授業を受けてくれて楽しかったです!」と下永田さん。

私たち2人が先生役に
挑戦しました!



恒例のコピージウムも 100周年仕様に

毎年恒例、中高生によるキャッチコピー展「TOGAKUコピージウム」を1号館で開催。建学の精神や100周年にちなんだ作品の数々が校内を彩り、100周年ムードを盛り上げています。



最新情報は
100周年特設サイト
をチェックしてお



逆転 授業

100周年に向けて
今後もさまざまな
イベントなどを予定!

【イベント例】

- ★「写ルンです」を使ってTOGAKUの「今」を記録する写真イベント
- ★学生、教職員の好きな音楽で10年後も聞けるプレイリストを作るイベント
- ★式典や旧流山キャンパスの見学会 など



問いも答えも、自分でつくる。

TOGAKU PBL
PROJECT BASED LEARNING

100周年のTOGAKUを象徴する学び

TOGAKU PBL 最前線

「問いも答えも、自分でつくる。」がキーワードの新しい学び方、TOGAKU PBL。
100周年を機に一層推進していく予定ですが、すでに全学部で活発に行われています。
ここでは、2025年春学期に行われたPBLを中心に一例をご紹介します

学生たちが大きく成長！

TOGAKU SHOWCASE



学内フリーマーケット

現代経営学部 プロジェクトマネジメント



こんなPBL

学生たちがフリマをマネジメント！ スモールビジネス体験の機会に

現代経営学部「プロジェクトマネジメント」（野村拓也専任講師）の受講生約90名がフリーマーケットを企画・開催。7/15（火）～18（金）にTOGAKU SHOWCASEで実施し、前半2日程を「よりみちマルシェ」、後半2日程を「裏みちマルシェ」と命名し、小チームに分かれてブースを出店しました。

受講生は企画から商品の制作・仕入れ、ブースの装飾、宣伝動画作りまですべて自分たちで行い、スモールビジネスを体験する貴重な機会となりました。



やってみてどうだった？

適正価格を考えたり、うまく宣伝するのが難しく、「ビジネスってこんなに大変なんだ」と肌で感じて勉強になりました。
下瀬藍さん

商品の制作に苦労しましたが、みんなで取り組めて楽しかったし、授業で学んだことを実際に「体験」できてよかったです。
伊藤李莉亜さん

フィールドスタディ



モンゴル文化研究

グローバル・コミュニケーション学部 フィールド文化研究ゼミ

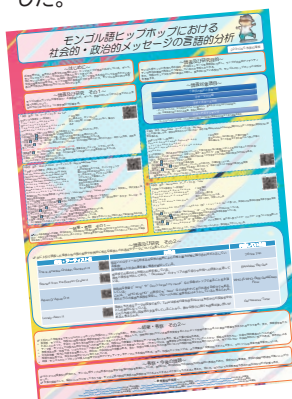


こんなPBL

モンゴルの食や音楽に触れるべく 日本最大級のフェスティバルへ！

異文化を研究している「フィールド文化研究ゼミ」（中村知子専任講師）は、日本最大級のモンゴル文化フェスティバル「ハワリンパヤル2025」でフィールドスタディを実施。モンゴルの食や伝統衣装、音楽などを体験し、実際に自分の目で見て感じた後のモンゴルに対するイメージの変化をレポートにまとめました。

さらに、ゼミ生はそれぞれ興味ある分野のモンゴル研究を深化。その成果をTOGAKU SHOWCASEにてポスターセッション形式で展示しました。



やってみてどうだった？

モンゴルのヒップホップについて研究。ポスター制作を通じて「どう表現すれば伝わるか」を意識するようになりました。
佐藤玖瑠実さん

フィールドスタディでモンゴルの食べ物に興味を持ち、食をテーマに研究。好きな分野だったので楽しみながら学べました。
杉山陽奈子さん



100周年に向けて誕生した TOGAKU SHOWCASE って?

PBLの「見える化」を目的に設置されたスペース。
PBL関連の展示やイベントなどを行っています。商
品の販売・配布などのイベントを通じて、スモール
ビジネスを体験する機会にもなっています。

1号館1階に
常設されているよ!



注目PBL 4選

産学連携



音楽フェスとのコラボ

現代経営学部 マーケティングとメディア研究ゼミ



こんなPBL

TOKYO FMの人気番組と産学連携 フェスを盛り上げる施策を実施

「マーケティングとメディア研究ゼミ」(八塩圭子教授)は、中高生に大人気のTOKYO FM『SCHOOL OF LOCK!』との産学連携を実施。同番組主催の音楽フェス『マイナビ閃光ライオット2025』を盛り上げるプロジェクトに挑戦しました。

フェス当日は会場では来場者向けのブースを出展。ゼミ生が考案したメッセージボードが大反響だったほか、用意した景品300個が足りなくなるほどの大盛況に。今後は効果分析を行い、株式会社エフエム東京に最終報告を行う予定です。



やってみてどうだった?



自分たちのアイデアをゼロイチで形にする難しさがありましたが、苦労した分、大きな達成感を得られました。
下永田心春さん



企業の方に「一人の大人」として扱っていただき、責任感やスピード感を持って仕事をする大切さを学びました。
斉藤琴乃さん

TOGAKU SHOWCASE



こども服の譲渡会

人間科学部 人間社会演習



こんなPBL

不用になった子ども服を回収し譲渡 SDGsや社会課題をリアルに学ぶ

人間科学部の集中科目「人間社会演習」(種村文孝准教授)の一環として行われたイベント。昨年開催して大好評だったことから今年も行うことに。昨年同様、大学の地元・文京区、さらにゼンドラ株式会社との産学連携により開催しました。

学生たちは、子ども服の回収から宣伝、譲渡会の開催まで自らマネジメント。また、今年は新たな取り組みとして、公開学習会「大学生と考える子育ての現状と課題」も同時開催しました。



やってみてどうだった?



集客のためにチラシを配ったり、譲渡会の視察などを経て当日を迎えました。実際に「やってみる」勉強は楽しいです!
伊藤新夏さん



公開学習会に参加し、子育てをされている方の悩みをお聞きして、「現場で現状を知る」ことの大切さを痛感しました。
大塚美希さん

実際に体験して
魅力を深掘り!



ダーツを身近にする 新たなアイデアを提案

現 安藤ゼミ

安藤ゼミが株式会社ダーツライブと連携し、「ダーツの魅力をどう広めるか」を模索。近年ビジネスの現場で話題の「デザイン思考」を用い、学生らしい柔軟さで課題解決策を考えました。



現地に足を運んで リアルなSDGsを体感

現 SDGsリーダー育成プログラム

現代経営学部主催「SDGsリーダー育成プログラム」の研修に同学部1年生7名が参加。ゼロ・ウェイスト宣言で知られる徳島県上勝町を訪れ、サステナブルについて学びました。



近隣の小学校を訪れ 放課後支援事業に参加

人 堀口ゼミ

スクールカウンセリングを学ぶ堀口ゼミが、近隣の小学校で学外研修を実施。株式会社明日葉が実施する放課後支援事業に参加し、児童と触れ合いながら「援助者」の役割を体感しました。



ビジネスボードゲームの 企画開発に挑戦!

現 石黒ゼミ

石黒ゼミがボードゲームの総合企業である株式会社すごろくやと連携。近年盛り上がりを見せるボードゲームビジネスを研究し、オリジナルゲームの企画・開発にチャレンジします。



屋上のローズマリーを 有効活用して商品化へ

現 野村ゼミ

野村ゼミは1号館の屋上で育つローズマリーを使った商品開発に挑戦。7月には剪定・収穫とアロマオイル&ハーブウォーターの抽出作業を行いました。今後は商品化を目指しています。



ゼミ生がイベントを ゼロから企画・開催

現 本庄ゼミ

本庄ゼミは、約半年間かけて企画・準備した産学連携イベント「#サステナブルがとまらない展」を学内で開催。サステナブルファッションを楽しく学べる内容で、一般の方も多数来学!



サステナブルファッションの
価値を伝える!



子どもの発達に 合わせたおもちゃ作り

人 福田ゼミ

発達心理学を学ぶ福田ゼミでは、子どもの発達に適した玩具を企画。「東京おもちゃ美術館」で情報を収集したのち、グループごとにオリジナルの玩具を作ってプレゼンしました。



病院などの協力のもと 心理の仕事を現場で学ぶ

人 心理実習

人間科学部では公認心理師課程を設置し、4年次に「心理実習」を行っています。今年度は主要5分野の14施設にご協力いただき、5名の学生が実習に参加。専門職の方に多くを学びました。



プロスポーツビジネスの 現場でフィールドワーク

人 人間科学基礎演習A

「人間科学基礎演習A」を履修する2年生が野球殿堂博物館でフィールドワークを実施。展示資料の調査に加え、学芸員の方からも話を聞き、後日レポート制作とプレゼンを行いました。





トッププレーヤー参戦のゴルフ大会でボランティア

人 田蔵ゼミ

スポーツマネジメントについて研究する田蔵ゼミの3年生が、ゴルフトーナメントの運営ボランティアに挑戦。プロスポーツの現場を体験しながら学ぶ産学連携PBLを行いました。



学生パワーで
地域を元気に！

地元の祭りに参加して 地域活性化に貢献

人 種村ゼミ

本学近くで開催された三河稲荷神社例大祭に種村ゼミがボランティアとして参加。子どもが遊べるコーナーの準備を手伝ったり、地域の方々とお神輿を担ぐなどして交流を深めました。



こんなに活発！

PBL

ダイジェスト



東京大空襲について学び 平和の大切さを考える

グ 川口ゼミ

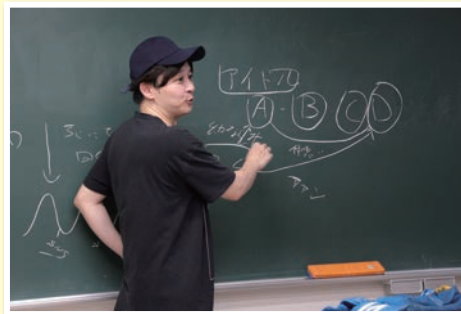
川口ゼミおよび「専門基礎演習 A&専門応用演習」の履修学生が、学外研修として江東区の東京大空襲・戦災資料センターを訪問。施設見学のほか、空襲被災者の方のお話も伺いました。



障がい者サッカーを 体験して理解を深める

人 運動・スポーツ指導の実践

人間科学部の科目「運動・スポーツ指導の実践」にて、公益財団法人日本サッカー協会と連携した特別講義を実施。スポーツ・健康コースの学生が障がい者サッカーを体験しました。



避難所の運営をテーマに グループでPBLを実施

人 人間科学基礎演習A (心理・カウンセリング)

人間科学部の授業の一環として、災害時の避難所運営をテーマにしたPBLを実施。地域の人々を支えるために、周りの避難所とコミュニケーションを取る重要性などを学びました。



有名プロデューサーに 番組企画をプレゼン!?

グ 松井ゼミ

動画制作について研究する松井ゼミでは、有名プロデューサー・鼻戸航介氏による特別講義を実施。講義後はゼミ生が番組企画をプレゼンし、貴重なアドバイスをいただきました。



日本の文化を紹介する イベントを企画・運営

グ 異文化交流とコミュニケーション

米国サム・ヒューストン州立大学 (SHSU) のサマースクール開催に合わせ、グローバル・コミュニケーション学部の学生がPBLを実施。Global Loungeで「日本祭り」イベントを開催しました。



か
る
た
遊
び
な
ど
日
本
の
文
化
を
紹
介



外国人観光客の視点で空港の利便性を調査

グ 高尾ゼミ/飯尾ゼミ/宮房ゼミ

グローバル・コミュニケーション学部の3ゼミが合同でPBLを実施。羽田空港を訪れ、外国人観光客の視点で空港設備や案内標識などを調査し、その内容を後日プレゼンしました。



「課題」について研究
空
港
で
見
つ
け
た

TOGAKU NEWS



学生たちの活躍や、大学からのお知らせなど
キャンパスライフにまつわるニュースをお届け！

最新ニュースは
こちら

学園祭

10/11（土）・12（日）に学園祭を開催 「第33回フェニックス祭ー郷郷祭りー」

今年の学園祭は「桜花爛漫」をスローガンに、各サークルやゼミの出店、ステージパフォーマンスに加え、お笑い芸人によるライブや俳優・モデルのトークショー、さらに近隣の大学や地元商店街のお祭りとのコラボも実施。地域の方々にも多数来場いただきました。



学部長賞

資格試験やスポーツ大会などで 優秀な成績を収めた学生を表彰

東洋学園大学では、資格試験や大会等で優秀な成績を収めた学生に学部長賞を授与しています。2025年度の春学期は、3学部合わせて29名が受賞しました。

2025年度春学期 学部長賞受賞者

【現代経営学部】

- 渋谷丈斗（4年）／宅地建物取引士合格
- 山本高嗣（4年）／簿記検定2級
- 中村理愛（3年）／第52回関東学生フィギュアスケート選手権大会 女子5級クラス第2位
- 中川仁（3年）／2級FP技能検定合格
- 下永田心春（3年）／リテールマーケティング（販売士）検定試験2級合格
- 角田杏実（4年）、池端心菜（4年）、山岸海来（4年）、久保田陽和（4年）、八重樫優月（4年）／ホテルビジネス実務検定試験ベーシックレベル2級合格

【人間科学部】

- S.O.（4年）／TOEIC Listening & Reading 990点
- 川崎颯人（3年）／マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）Excel2019エキスパート合格
- 佐笠遥菜（4年）／基本情報技術者試験合格
- 田端琉玖（4年）、中村桜介（4年）、依田幸海（3年）、渡邊俊輔（3年）／フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級合格
- 野口真佑（4年）、田貝光（4年）、彦坂亜由夏（4年）、上原朱莉（4年）、穂積涼華（4年）、坂場龍之介（4年）、川崎颯人（3年）／メンタルヘルス・マネジメント検定 III 種（セルフケアコース）合格
- 佐藤寛太（4年）／ホテルビジネス実務検定試験ベーシックレベル2級合格

【グローバル・コミュニケーション学部】

- 鈴木千夢（4年）／TOEIC Listening & Reading IPテスト830点
- 安藤陽菜（3年）、荒川野乃香（3年）、金澤ひなの（2年）／ホテルビジネス実務検定試験ベーシックレベル2級合格



人間科学部の受賞者



現代経営学部の受賞者



グローバル・コミュニケーション学部の受賞者

学内イベント

キャンパスライフの質を高める 在学生向けイベントを定期的開催

本学では、在学生のすこやかで有意義なキャンパスライフを応援するべく、さまざまなイベントを企画・実施しています。

学生相談室では、癒しを提供する家族型ロボットLOVOTを本格的に導入。今年の春に迎えた「コモモ（2代目）」は活発な性格で、ダンスを見せるなどして学生たちを笑顔にしました。さらに、セラピー犬とふれあって心を癒せる「ドッグセラピー」も学内で定期開催しています。



LOVOT



健康フェア



Lounge
Event



ドッグセラピーの様子

LOVOTのコモモ



UK dayの様子

保健室は、在学生の健康をサポートするイベントを実施。6月には「春の健康フェア」を開催し、採血不要の貧血チェックを行いました。

また、1号館3階のGlobal Loungeでは、語学力アップにもつながるLounge Eventを今年度も開催。スケジュールは国際交流センターのHPやSNSでチェックを！

懇談会

学生会メンバーと学長が意見交換 100周年に向けた相互協力も約束



来年2026年に創立100周年を迎える本学では、教育改革をはじめとするさまざまなプロジェクトが動き出しています。

7/22（火）には「第一回 学長と学生の懇談会」を開催しました。当日は、学生代表として学生会運営部に所属する4名が出席し、辻中豊学長や大学職員らとランチタイムにディスカッション。学生側・大学側それぞれの視点で情報交換を行い、100周年記念イベント等での相互協力も約束しました。



同じ区内の文京学院大学との連携に加え グローバルな大学間連携も活発に！

本学では、同じ文京区内にキャンパスを持つ文京学院大学との大学間連携・交流を行っており、単位互換に関する協定も結んでいます。5月には、単位互換対象科目である文京学院大学「経営者論」に本学の愛知太郎理事長がゲスト講師として登壇し、文京学院大学の島田昌和理事長とともに特別講義を行いました。



文京学院大学での特別講義の様子

また、本学は浙江旅游職業学院（中華人民共和国）との間で、国際交流に関する協定も締結。6月に調印式を行い、毎年恒例の「鑑真杯 中国語スピーチコンテスト」をはじめとするイベントの相互協力、留学や編入学などに関する国際交流について合意しました。

さらに、本学ではアメリカ合衆国のサム・ヒューストン州立大学 (SHSU) と長年交流を続けており、今年も6月にサマースクール「SHSU in TOGAKU 2025」を実施。SHSUの学生が3週間にわたって本学に通い、イベントなどを通じてTOGAKU生との交流を楽しみました。



文京学院
大学

浙江旅游
職業学院

SHSU



浙江旅游職業学院との調印式

SHSU in TOGAKU 2025の様子

高大連携

訪問講義で高校の探究学習をサポート 金融リテラシーを高める授業の展開も



仙台大明成

高大連携活動を推進し、高校の探究学習のサポートにも力を入れている本学。昨年から、人間科学部の教員が都内の私立堀越高等学校を支援。1年間かけて心理学系の訪問講義「ライフデザイン」シリーズを展開していく予定です。

また、8月には仙台大学附属明成高等学校との間で高大連携に関する協定書を締結。同校とはこれまで、本学教員による訪問講義シリーズを実施するなどの高大連携を行っており、今後さらなる交流・連携が期待されます。

さらに、高校生サポートの一環として、本学と一般社団法人が共同開発した「騙されない為の授業」を各地の高等学校で実施。投資詐欺や闇バイトといった「お金」のトラブルを未然に防ぐことを目的としたゲーム形式のプログラムで、年内に4つの高等学校で実施を予定しています。



仙台大学附属明成高等学校との調印式

地域連携

100周年に向け地元・本郷との連携を強化 在学生×地域イベントのコラボも続々！

本学では、創立時から続く地元・本郷とのご縁を活かし、100周年に向けてより連携・発展させるための取り組みを活性化しています。

10/12(日)には、学園祭と本郷大横丁通り実業会の主催する「大横丁通り祭り こども縁日」を同日開催。ワーク・スタディ・スタッフと人間科学部の種村ゼミ有志らが協力し、子ども向けのゲーム出店の準備から運営ボランティアまで行いました。

また、10/19(日)には、本郷台中学校で行われた「本郷百貨店祭り」に人間科学部の田蔵ゼミが産学連携プロジェクトの一環で参加。ワーク・スタディ・スタッフや卒業生有志らも参加し、地元の人々と交流を深めました。



大横丁通り祭り こども縁日の様子

産学連携

企業のトップを講師に迎え 現代経営研究会を開催中



さまざまな企業の経営者を招いてお話を伺う、毎年恒例の現代経営研究会を今年も開催。本年度は「進化と深化」をテーマとし、10～12月まで全5回開催予定です。対面・オンラインの同時開催で、どなたでも参加可能。受講無料、HPから事前にお申込みください。



TOGAKU SPORTS

最新情報は
こちら！



2025年度上半期のトップニュースは、なんといっても硬式野球部の2部リーグ優勝！

過去3年間にわたって掲げてきた目標を、春のリーグ戦でついに達成しました。

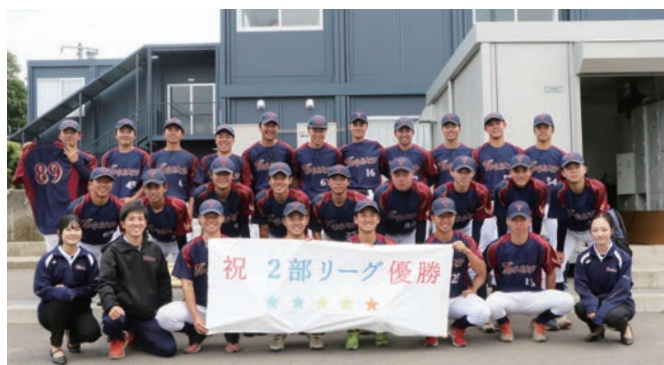
さらに、テニス部やフィギュアスケート部、ろう野球選手の活躍にもご注目を。

硬式野球部

春季リーグ戦で悲願の2部リーグ優勝を達成！

本学の硬式野球部は、東京新大学野球連盟の2部リーグに所属。2部優勝・1部昇格を目指して2025年度の春季リーグ戦に挑み、8勝2敗で見事2部優勝に輝きました。1部との入替戦では駿河台大学と対戦し、1勝2敗で惜しくも敗退。1部昇格の目標は果たせませんでしたが、今後に向けて大きく躍進しました。

主将の益子選手は、理事会の優勝報告で次のようにコメント。「2部優勝は、全員が最後まであきらめずに戦い抜いた結果だと考えています。1部昇格はなりませんでしたが、秋に雪辱を果たすべく、『文武両道』をモットーにさらに精進します」



男女テニス部

女子部員が増え、5年ぶりにリーグ戦復帰

本学男子テニス部は、関東大学テニスリーグの4部に所属。夏に行われたリーグ戦では、1年生を多く起用するフレッシュなチーム構成で挑みました。結果は2勝3敗で4部リーグ残留となりましたが、個々の選手の成長が感じられる内容で、今後の目標である3部昇格にも期待が持てそうです。

女子テニス部は、コロナ禍の影響もあって長らく部員不足でしたが、1・2年生で構成された新チームとしてリーグ戦に復帰。5年ぶりに本学単独チームとして出場し、5部で1勝2敗に。貴重な1勝を挙げ、来年に向けて再起の一步となりました。



フィギュアスケート部（同好会）

トップ選手が集う東インカレで 中村選手が5級3位に

中村理愛選手（現代経営学部3年）が、「第19回東日本学生フィギュアスケート選手権大会（東インカレ）」女子シングルス5級3位に入賞。インカレ出場を決めました。7月に行われた「関東学生有志大会」でも、女子5級クラス3位に入賞。「演技をノーマスでまとめることができ、自信になりました」と語りました。



ろう野球

世界ろう野球大会の日本代表選出に向けた 強化合宿に小館選手が参加

人間科学部2年の小館一輝選手が、「2026年第2回世界ろう野球大会（WDBC）」の強化合宿に参加。ろう野球は聴覚障がい者がプレーするパラスポーツです。小館選手は2024年の第1回大会に日本代表として出場・優勝した経験を持ち、「世界大会に向けてさらに手先のスキルを磨き、視野も広げて、大会2連覇を目指したいです」とコメントしました。



写真とともに！



東洋学園100年の歴史に迫る！

七不思議

其の七

“誕生日”が2つある謎

大学の創立記念日は5月1日のはずなのに、100周年の記念日は11月4日!?
なぜこんなズレが発生したのか、歴史をひも解きながらご紹介します。

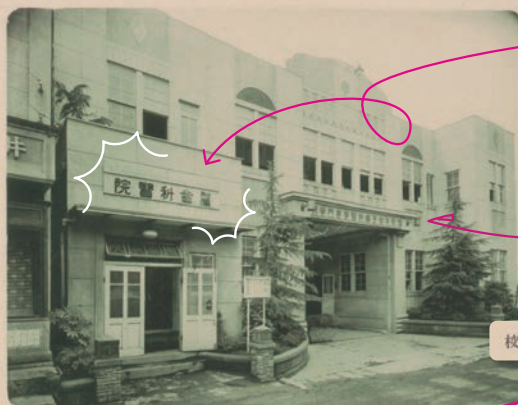
東洋学園が誕生して
間もない頃の写真



歯科医専時代の校章
“TDC”



現在の100周年ロゴにも
校章が健在！



校學門専學醫科歯女洋東 院醫科歯女洋東 院醫科歯女洋東

校舎に臨床実習用施設の
付属歯科医院が
併設されていた

震災後の1924年に
再建した前身校の校舎を
そのまま使用し、
校名だけ変更

校學門専學醫科歯女洋東 院醫科歯女洋東 院醫科歯女洋東

「文部大臣指定」の
文字が誇らしい

1927年の卒業アルバムより抜粋

「学園」としての誕生日は1926年11月4日

まもなく100周年を迎える東洋学園。その記念すべき節目の日は、1926（大正15）年11月4日を起点としています。なぜ大学の創立記念日である5月1日ではないのでしょうか。

実は11月4日は、東洋学園大学のルーツである東洋女子歯科医学専門学校（以下、東洋女子歯科医専）が産声を上げた日。つまり、この日こそ「東洋学園の誕生日」といえます。

一方で5月1日は、戦後新たに設置した東洋女子短期大学の開学日であり、東洋学園が新たなステップを踏み出した日。これが現在も大学の創立記念日として受け継がれているのです。

ちなみに、東洋女子歯科医専の創立に大き

く貢献したのは当時の学生たちでした。この時代、国家試験免除で歯科医師免許を得られる文部大臣指定校卒業が有利でしたが、前身校は指定を受けていませんでした。そこで学生たちが奮起し、保護者と文部省を巻き込んだ学生運動を展開。「東洋」の名を冠した指定校の実現に導いたのです。周囲の人々と協力しながら課題と向き合い、未来を切り拓いた当時の学生たちは、まさにPBLを体現していたといえるでしょう。

学園の長い歴史の中には、ほかにも知られざるドラマがいっぱい。ぜひこの機会に史料室で深掘りしてみてください。



上：東洋学園が誕生して初めての卒業式。文部大臣指定認可がおりた翌日に卒業式が行われ、卒業生は試験免除で歯科医師免許を得ることができた
下：短大時代の卒業式。当然ながら女子ばかり！

東洋学園は2026年で100周年！

東洋学園
誕生！

1926年11月4日に文部大臣指定の学校
として創立＝「東洋学園」の誕生日

1950年5月1日に短大が開学＝現在の
「大学」の母体となる学校の誕生日

1917（大正6）年

前身・明華女子歯科医学講習所開校

1926（大正15）年

東洋女子歯科医学専門学校 創立

1950（昭和25）年

東洋女子短期大学 開学

1992（平成4）年

東洋学園大学 開学

詳しくは
1号館9階の
史料室へ！

じきょうやまず

#自彊不息でいこう

Vol.9

みんな
現代経営学部3年生で
100周年記念事業イベント
委員会 学生委員

「自彊不息」とは、「日々の努力を怠らず学びに励むことで成長し、社会を変えていく人間になってほしい」という願いを込めて継承されてきた東洋学園大学の建学の精神。このコーナーでは、個性豊かな学生たちが「自彊不息」を受け継ぎ、毎日の小さな努力を積み重ねて一歩ずつ成長している様子を紹介します。

